

東広島マップ

駅からまち歩き

西国街道てくてく旅 西条～八本松



- まち歩き おすすめ 10 コース
- ①八本松八十八石仏巡り
 - ②西国街道てくてく旅 西条～八本松
 - ③西条 銘酒を育むまちと山
 - ④西条 3国史跡を巡る
 - ⑤黒瀬川自然散策 西条編
 - ⑥歴史と文化のまち 白市
 - ⑦入野 童謡説と竹林寺参詣
 - ⑧山と清流のまち 河内
 - ⑨潮風と歩く万葉の里 風早
 - ⑩御蔵所と酒で栄えた港町 安芸津

駅からまち歩き

東広島マップ

東広島市内JR7駅（八本松・西条・白市・入野・河内・風早・安芸津）からはじまるウォーキングコースを各地域の方々と一緒に作ったマップです。観光スポットを随所に掲載するなど、地域の魅力がたくさん詰まっています。すばらしい東広島市の魅力を存分に味わいながらウォーキングをお楽しみください。

作成：西条地区ウォーキングマップ作成実行委員会
発行：東広島市（平成24年3月）

お問い合わせ
・東広島市産業部商業観光課 tel.082-420-0941
・社団法人 東広島市観光協会 tel.082-420-0310
・JR 西条駅前観光案内所 tel.082-421-2511
(営/10:00～16:00、休/月曜日)

西国街道

『西国街道』というのは江戸時代における山陽道の呼び名です。中世まで山陽道は大宰府と都を結ぶ唯一の大路でしたが、江戸時代になると脇街道とされ、その名を「西国街道」と呼ばれるようになりました。

慶長 5(1600) 年、関ヶ原の戦いに勝った徳川家康は全国支配への基礎を固めて、翌慶長 6(1601) 年から積極的な交通政策に着手していきました。

寛永 10(1633) 年、諸国の政情を視察のためにまわってくる、大名家にとってはこわい幕府巡見使の浅野家御領内通行や、参勤交代制度の確立などをきっかけにして街道は整えられていきました。街道の道幅は 2 間半 (約 4.5m)。1 里 (約 4km) ごとに一里塚も設けられました。広島県内の宿場は 10 宿。東から神辺・今津・尾道・三原・本郷・四日市 (西条)・海田・広島ご城下・廿日市・玖波でした。

現在の東広島市の中央に当たる位置にあった、四日市次郎丸村は、かつて、「四日市」と呼ばれ、御茶屋と呼ばれた本陣や脇本陣が設けられ、賑わっていました。

西国街道の四日市付近は明治の中頃には「西条」と名を変えて、町の真ん中に鉄道を引き込み、停車場 (駅) をつくりました。これを機会に街道沿いで酒造りが盛んになりました。

酒蔵通りを散策

酒蔵通りと呼ばれる西条駅前帯は、軒を連ねる酒蔵の白壁やなまこ壁と、赤レンガの煙突が織り成す風情ある町並みが続きます。

現在でも、酒造りを続ける老舗 8 蔵元が各蔵独自の「西条酒」を造り出しています。

酒蔵を改装したカフェや料理店もあり、酒蔵見学や試飲を楽しみながら、日本を代表する銘醸地の一つ、西条の町並みをゆっくりと散策してみましょう。

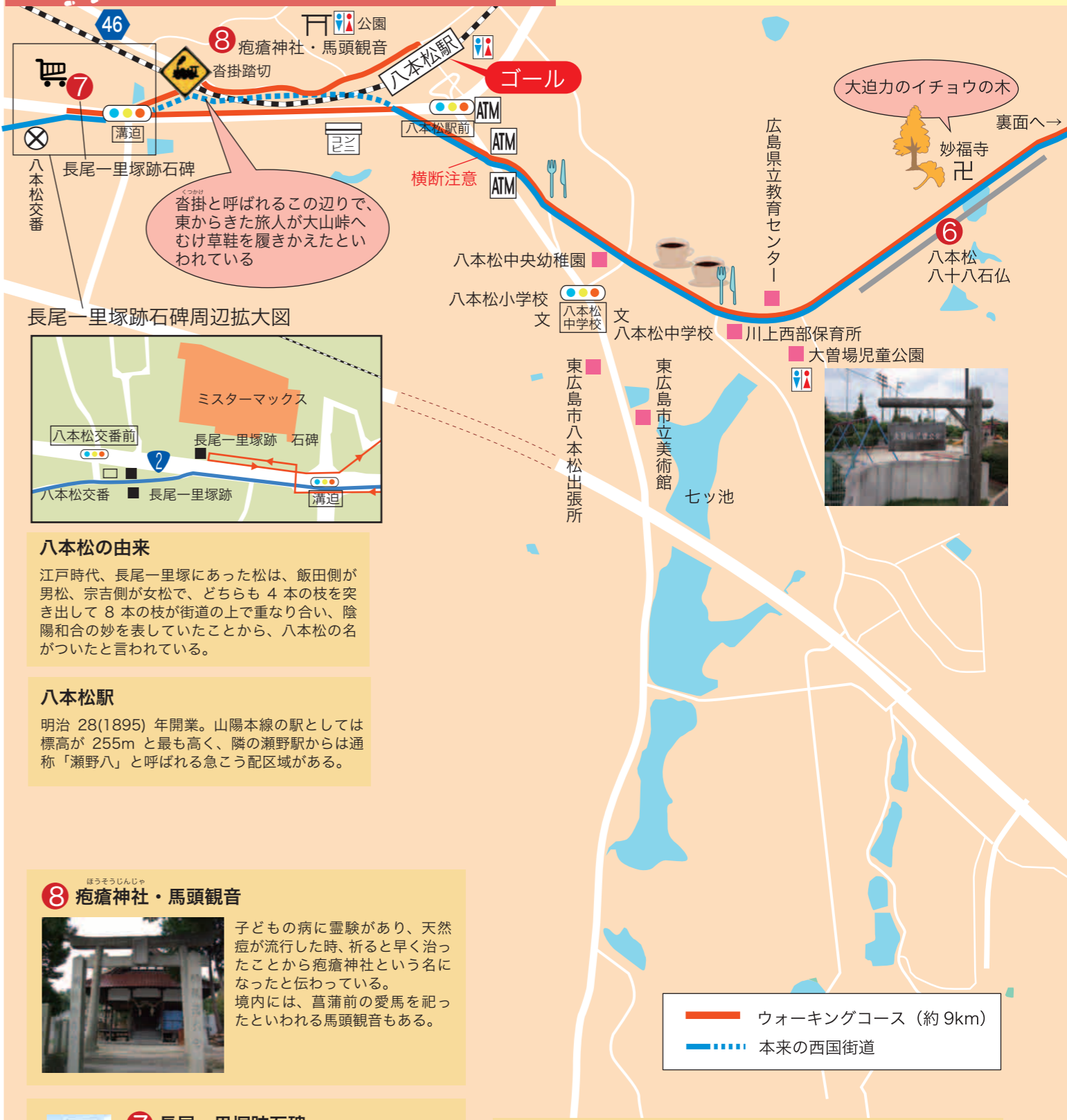
酒都西条の名物料理「美酒鍋」

現在、西条の名物料理となっている美酒鍋は、昔は酒の仕込み時期の蔵人のまかない料理として、各蔵元ごとにそれぞれの材料と調理方法で作られていました。美酒鍋の作り方は、ニンニクを炒め、鶏肉、砂ずり、コンニャク、白菜、タマネギ、にんじん、白ネギ、ピーマン等の野菜を入れ、酒と塩コショウで味つけするのでシンプルな鍋料理です。アルコール分はとびますので、お酒が苦手な方やお子様も安心して食べられます。



東広島マップ

駅からまち歩き



西国街道てくてく旅 西条～八本松

■距離：9km (JR 八本松駅スタートの逆コースも可能です。)
■所要時間：約 3 時間



八本松の由来

江戸時代、長尾一里塚にあった松は、飯田側が男松、宗吉側が女松で、どちらも 4 本の枝を突き出して 8 本の枝が街道の上で重なり合い、陰陽和合の妙を表していたことから、八本松の名がついたと言われている。

八本松駅

明治 28(1895) 年開業。山陽本線の駅としては標高が 255m と最も高く、隣の瀬野駅からは通称「瀬野八」と呼ばれる急こう配区域がある。

8 疱瘡神社・馬頭観音

子どもの病に霊験があり、天然痘が流行した時、祈ると早く治ったことから疱瘡神社という名になったと伝わっている。境内には、菖蒲前の愛馬を祀ったといわれる馬頭観音もある。

7 長尾一里塚跡石碑

長尾一里塚は、広島城下から東に 6 里にあたり、寛永年間に造られた。一里塚とは、街道の 1 里 (約 4km) ごとの両側に設けられた塚のことで、その上に松や榎を植えて旅人の目印とした。

6 八本松八十八石仏

北海道開拓で富を得て帰郷し、八本松駅近くに住居を構えていた堀岡熊次郎が中心となって建てた。大正末期、当時田舎の八本松に人の集えるものを作りたいと願い、四国霊場八十八箇所になぞらえ 88 体の舟形光背をもつ石仏がつけられた。山コース 1～48 番・里コース 49～88 番。

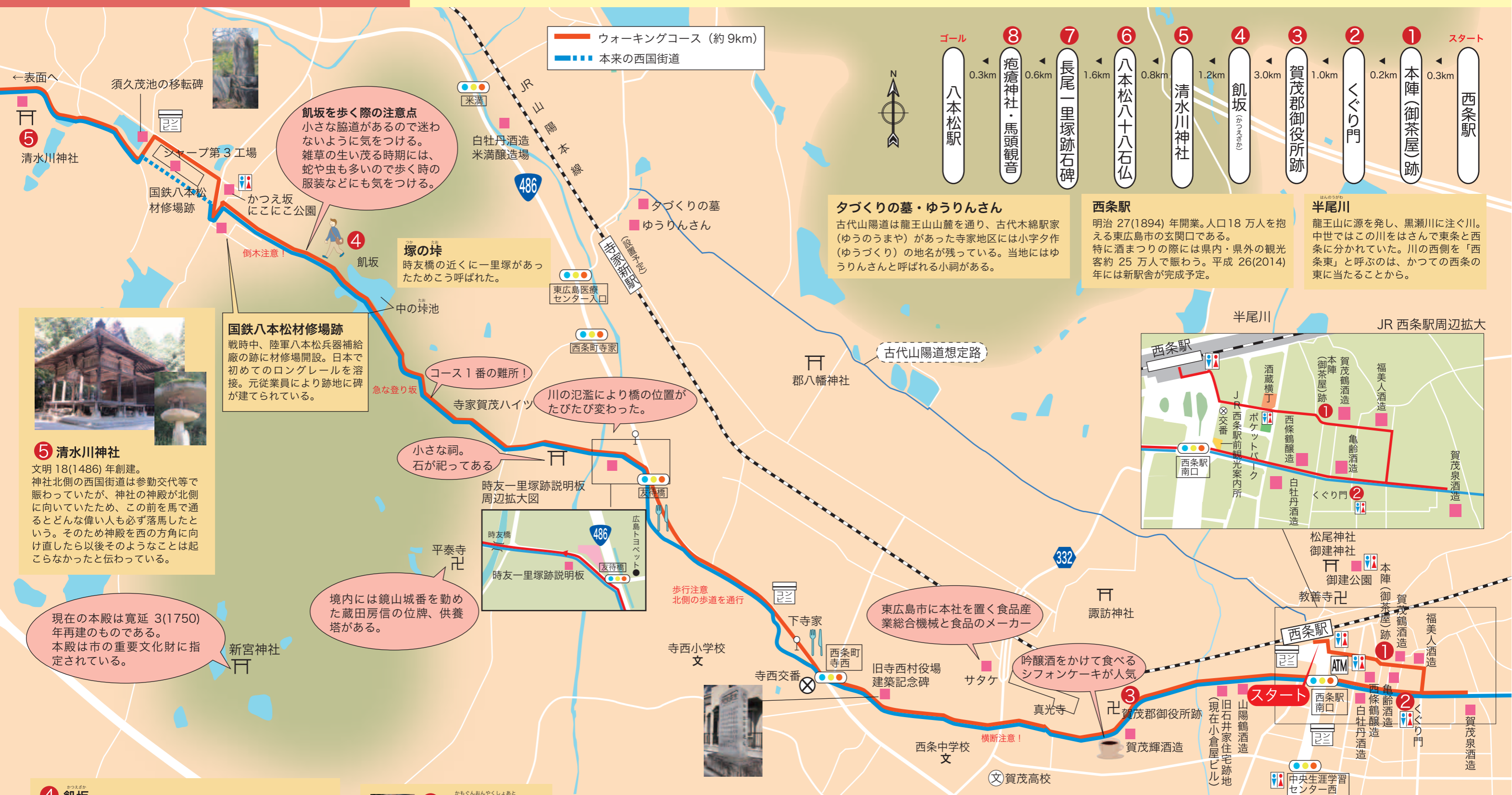
— ウォーキングコース (約 9km)
— 本来の西国街道

西国街道てくてく旅 西条～八本松

(JR 八本松駅スタートの逆コースも可能です。)

凡例

- スーパー
- コンビニ
- トイレ
- 喫茶・お菓子
- ATM 現金自動支払機
- お食事処
- バス停



飢坂を歩く際の注意点
小さな脇道があるので迷わないように気をつける。雑草の生い茂る時期には、蛇や虫も多いので歩く時の服装などにも気をつける。

塚の埵
時友橋の近くに一里塚があったためこう呼ばれた。

国鉄八本松材修場跡
戦時中、陸軍八本松兵器補給廠の跡に材修場開設。日本で初めてのロングレールを溶接。元従業員により跡地に碑が建てられている。

5 清水川神社
文明 18(1486) 年創建。神社北側の西国街道は参勤交代等で賑わっていたが、神社の神殿が北側に向いていたため、この前を馬で通るとどんな偉い人も必ず落馬したという。そのため神殿を西の方角に向け直したら以後そのようなことは起こらなかったと伝わっている。

現在の本殿は寛延 3(1750) 年再建のものである。本殿は市の重要文化財に指定されている。

境内には鏡山城番を勤めた蔵田房信の位牌、供養塔がある。

川の氾濫により橋の位置がたびたび変わった。

小さな祠。石が祀ってある

コース 1 番の難所!

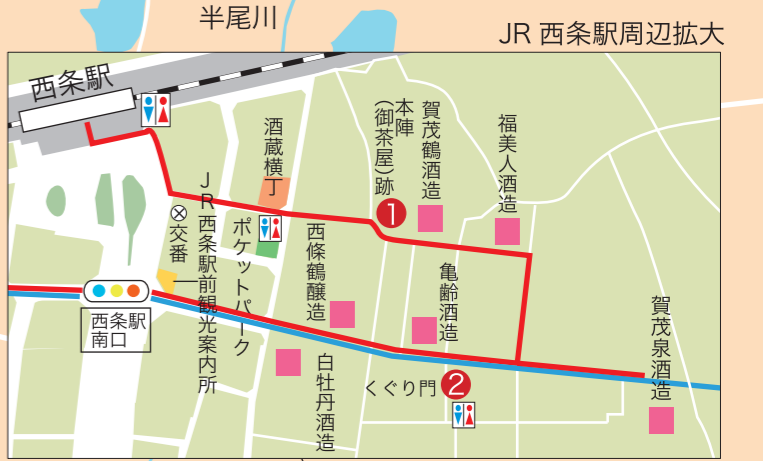
倒木注意!

急な登り坂

タブクリの墓・ゆりんさん
古代山陽道は龍王山山麓を通り、古代木綿駅家(ゆうのうまや)があった寺家地区には小字夕作(ゆうづくり)の地名が残っている。当地にはゆりんさんと呼ばれる小祠がある。

西条駅
明治 27(1894) 年開業。人口 18 万人を抱える東広島市の玄関口である。特に酒まつりの際には県内・県外の観光客約 25 万人で賑わう。平成 26(2014) 年には新駅舎が完成予定。

半尾川
龍王山に源を発し、黒瀬川に注ぐ川。中世ではこの川をはさんで東条と西条に分かれていた。川の西側を「西条東」と呼ぶのは、かつての西条の東に当たることから。



4 飢坂
名称の由来は二つあり、一つは江戸時代、飢饉のとき、峠の西側から峠越えをしようとした人々が、ここで力尽きて多くが倒れていったことからこの名がついたというもの。そのとき、東側の寺家村では、炊き出しをして人々を救ったとも伝えられている。もう一つは、多くの田を持つ牛満長者(うしまんちょうじゃ)の田植えが西条の助実の歌謡(うたうたい)坂から始まり、西条駅南のあたりで昼食をとり、夕方、ここまでたどりついた頃にお腹がすいたのでこの名がついたというもの。

3 賀茂郡御役所跡
江戸時代、広島藩の代官所が置かれた。代官不在時は御役所と呼ばれた。



2 くぐり門
路地を跨いで建つ建物が珍しく、昭和初期に賑わった芝居小屋「朝日座」への入口であった。平成 23 年に改装し、観光案内やトイレ、多目的スペースもあり、展示会なども開催。ちょっとひとやすみに立ち寄ってみては。 営 / 10:00 ~ 16:00 ※水曜日



1 本陣(御茶屋)跡
江戸時代、参勤交代の制度により四日市に御茶屋と呼ばれる広島藩の本陣が置かれ、大名や幕府要人が宿泊した。(広島藩、領内最大規模)。明治になると賀茂郡役所、その後、賀茂地方事務所として使われてきた。現在の門は当時の御門を復元したもの。